

研究機関：広島大学

研究課題名	眼内アプローチ緑内障手術の術後成績に影響する各種因子の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授 木内 良明
研究期間	2021年 5月14日(倫理委員会承認後)～ 2023年 3月
対象者	2017年7月から2021年3月の間に、広島大学病院眼科で眼内アプローチ緑内障手術による治療を受けた患者。当院ではab interno 線維柱帯切開術（白内障同時手術と単独手術を含む）とiStentを用いた白内障手術を併用した眼内ドレーン挿入術が該当する。
意義・目的	緑内障手術は、緑内障において点眼治療とともに眼圧下降を図る重要な治療です。その中でも近年は眼内アプローチで行う低侵襲緑内障手術が、広く行われています。特に線維柱帯切開術では切開範囲や部位による治療効果（術後の眼圧）が変わるかなど、術後経過各種因子はまだ研究途上であり、詳しく知る必要があります。今回、後ろ向きにすでに行われた手術の内容と術後の経過を分析して、その関係を知り、今後の術式改善につなげるためにこの研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、手術記録（線維柱帯切開術での線維柱帯の切開範囲）、術式、眼側、年齢、性別、術前眼圧・視力・点眼数、術後眼圧視力・点眼数です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 眼科 教授 木内 良明
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。（モニタリング有の場合）ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5247 広島大学病院眼科 医科診療医 岡田 尚樹